

Cグループ

藤原ひとみ(芦城小)	藤田留美子(木場小)
元田理香 (安宅小)	土中真紀子(向本折小)
石谷房子 (今江小)	中川 恵(符津小)
川島和美(波佐谷小)	梅川ゆかり(月津小)
飛田満紀 (金野小)	

見直そう！！ 親子のコミュニケーション

～出来るかな？ 親子の会話改造計画～

1 テーマの選定について

日頃、親子の会話出来ていますか？

私達は、日常の家事・仕事に追われ、改めて思い返せば子どもが話しかけても『後で…』や『待って』の一言で済ましていませんか？
私達は慌ただしい生活の中で、親の一方的・感情的な状態で子どもに向き合い、つい口をついて出てくる言葉は **“親の言うことを聞かない子”** ではないでしょうか。

もし私達が子どもの立場になって、そんな事を言われたならば **もうお母さんの言うことなんて聞きたくないわ”** と感じるのではないのでしょうか。

今回 藤原 清道氏の講演会『親の言い分 子どもの言い分』を拝聴し、第一に考えさせられたのは 親と子のコミュニケーションが より良い親子関係を築く事の根源にあるのではないかと考えました。
そこで私達は『親と子のコミュニケーション』をテーマとして取り組む事としました。

ちょっとした一言で子ども達とより良い関係を築いていけるとしたら…
もっと今以上 いやそれ以上、子どもとの距離が近づくに違いありません。

まず小言を言う前に、グッと我慢をして、子どもの気持ちを考えたコミュニケーションを実行していきませんか！



★アンケートする事になったきっかけ

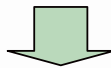
あまり手がかからず言うことを聞いてくれる

全然言うことを聞かない

親は、子どもとコミュニケーションを取れていると思っているけど子どもはどう思っているのかしら??

他の御家庭ではどのように親子のコミュニケーションを取っているの??

親は、子どもの事を思って話し行動しているが、受け止める側の子どもは、親は自分の事を大切に思ってくれているとストレートに受け止めてくれているだろうか???



よそのご家庭は?と意見は出て、各小学校6年生対象でアンケートを取り、多くの意見・考え方を収集し、参考にしていきたいと考えました。

★親子のコミュニケーションチャレンジのきっかけ

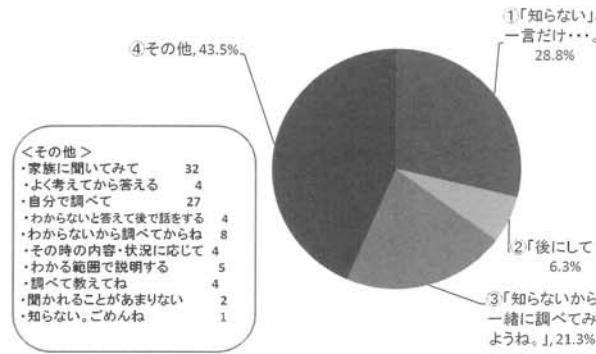
講演で、言葉一つで子どもが良くなったり、悪くなったりすると聞きました。それならば、実際に私達一人一人が、挑戦してみるべきではないかと思いました。挑戦項目を「早くしなさい!!」を止め、言葉を変えて、キツイ言い方をせず、子どもと接するようにしようと決めました。



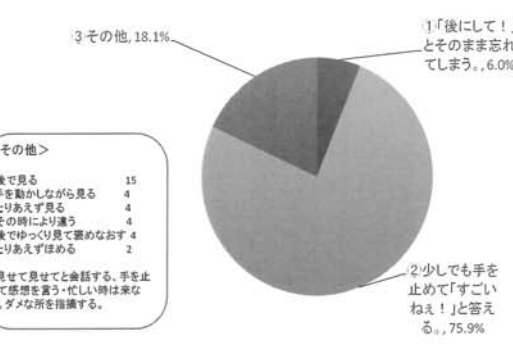
「親子のコミュニケーション」に関するアンケート

＜親＞ 配布 410 回収 354
 ＜ 父 23 母 319 祖父 0 祖母 9 その他 1＞

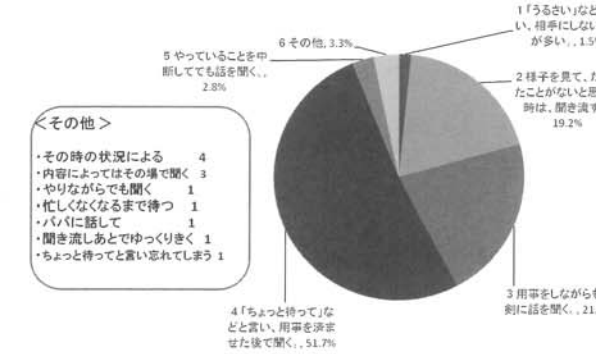
Q1、「ねえ、〇〇って何？」「どうして〇〇なの？」と質問されたとき、知らなかったらどう答えますか？



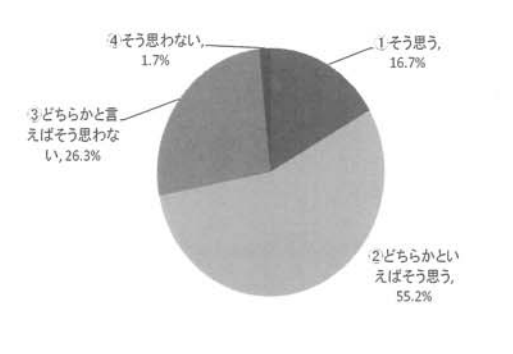
Q2忙しいとき、子どもが自分の描いた絵やテストを見せたら、どうしますか？



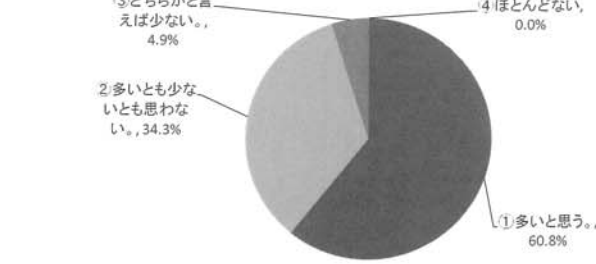
Q3忙しいとき、子どもが話しかけてきました。あなたはどうしますか？



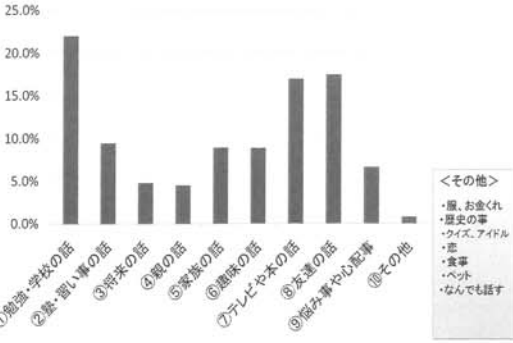
Q4子どもは、「あなたにしっかり話を聞いてもらえたと思っている」と思いますか？



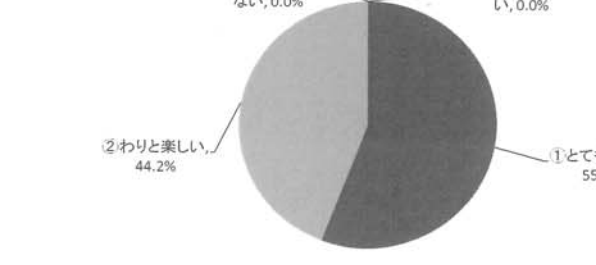
Q5子どもから話しかけられる機会が多いですか？



Q6子どもがあなたに話す話題は、どんなことが多いですか？（複数回答）

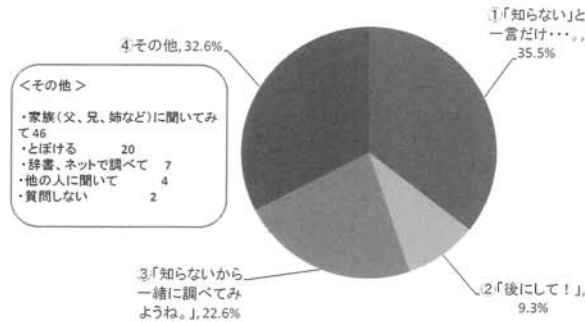


Q7子どもと話をする時間は楽しいですか？

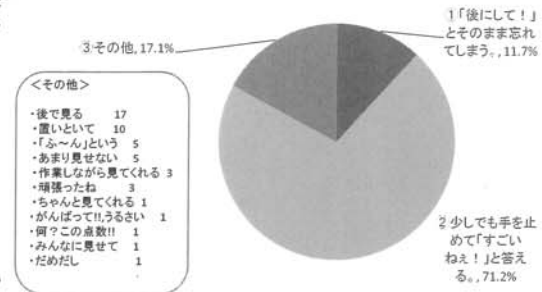


<子> 配布 412 回収 393

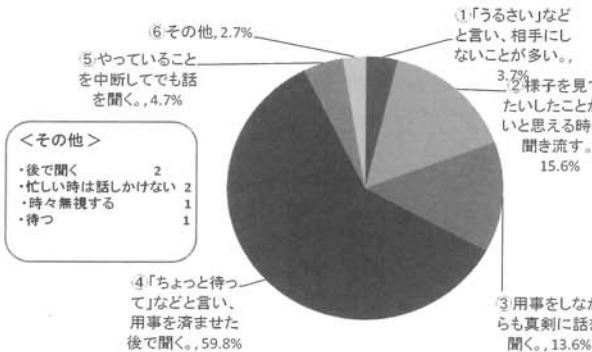
Q1、「ねえ、〇〇って何？」「どうして〇〇なの？」と質問されたとき、親が知らなかったらどう答えてもらえますか？



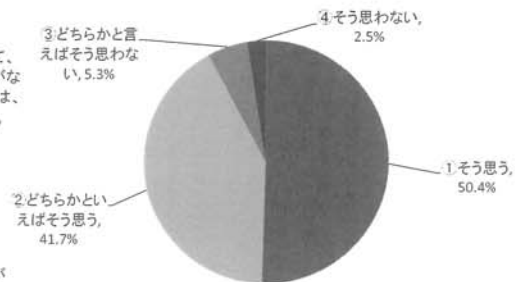
Q2親が忙しいとき、あなたが自分の描いた絵やテストを見せたら、親はどうしますか？



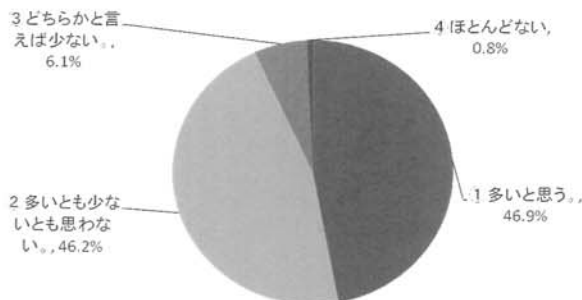
Q3親が忙しいとき、あなたが話しかけました。親はどうしますか？



Q4あなたは、「親にしっかり話を聞いてもらえている」と思いますか？



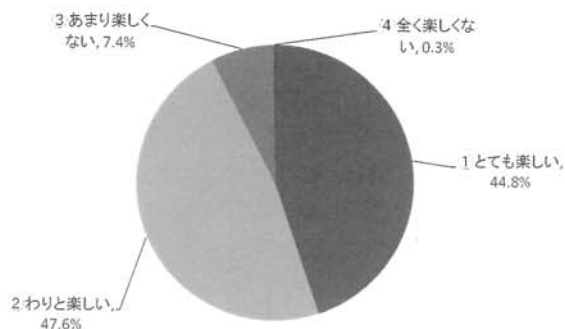
Q5親から話しかけられる機会が多いですか？



Q6親があなたに話す話題は、どんなことが多いですか？(複数回答)



Q7、親と話をすることは楽しいですか？



Q8幸せだと感じる時はどんな時ですか？（保護者）

子どもと一緒にいる時
子どもと一緒に食事している時
子どもと話したり、笑いあっている時
子どもの寝顔を見ている時
一緒にいるだけで・・・

～こんな意見もありました。～

<保護者>

- ・ 普段は反抗的だが、母の日などにプレゼントを用意してくれていたりする。
- ・ 仕事につまづいた時、勇気をもらえる。
- ・ 病気、怪我のない事。
- ・ 子どもの目線で話してくれた時。
- ・ ピアノと一緒に弾いているとき。
- ・ 機嫌の良い時。
- ・ 一日が無事終わった時。
- ・ お手伝いをしてくれる時。
- ・ 「お帰り」と、笑顔で子どもを出迎えてあげられた時。
- ・ 感謝の気持ちを素直に伝えてくれた時。

Q8幸せだと感じる時はどんな時ですか？（児童）

親と一緒にいる時
親と一緒に食事している時
親と話したり、笑いあっている時
親と遊ぶ時
親と出かける時
何か買ってもらえる時

～こんな意見もありました。～

<児童>

- ・ いい事があった時。
- ・ 喧嘩をしない時。
- ・ お願いを聞いてくれる時。
- ・ 親に挨拶が言えること。
- ・ お父さんとキャッチボールをする時。
- ・ 洗濯機が動いている時。
- ・ 自分の好きなことを親と一緒にしてくれる時。
- ・ 嫌なことがあった時に話を聞いてくれる時。
- ・ 夜、親が家にいる時。
- ・ お母さんの機嫌が良い時。
- ・ 大切にされていると感じた時。

★チャレンジしてみて・・・

改めて話を探すよりも、まず今まで以上に「あいさつ」する事に気をつける。いつもより大きな声で・・・そこから会話が始まることも・・・



「早くしなさい」は「おはよう」「おやすみ」と同じように日常、当たり前のように口から発する言葉のようです。

禁句を決めておくことで、自分に余裕が出て子どもの話をゆっくり聞くことができると感じました。

毎日の約束も、少しずつレベルUPすることで、飽きることなく続けることができた。飽きさせない声かけなども、結構大切だな。

「早くして」を「助かる～」に替えてみました。子どもたちもスムーズに動いてくれて、大成功でした。「助かる～」作戦はいろいろ応用も利くし、これからも続けていきたいです。

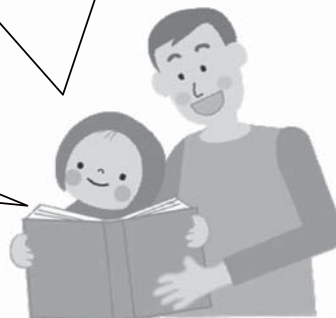


日常会話のように「早くしなさい」を使っていましたが、夜、必ず「今日も1日元気で学校へ行ってくれたおかげで仕事に行くことができた。ありがとう。」と、フォローすることを忘れませんでした。

親が口うるさくいわないでいると、自分で準備をするようになり、学校でも忘れ物がなくなった。仕事から帰ると洗濯物を入れて、きちんと個人に分けてたたんであった。祖母のしていることを見ていたようだ。思いっきりほめたら逆に「何してほしいん」と深読みされてしまいました。

子どものいうことを何でも聞いてしまうので子どもにとっては良いのか分からない。「早くして」と言わないように心がけてみたものの、結局は言ってしまう。言葉を換えるというのは難しいことだなと思いました。

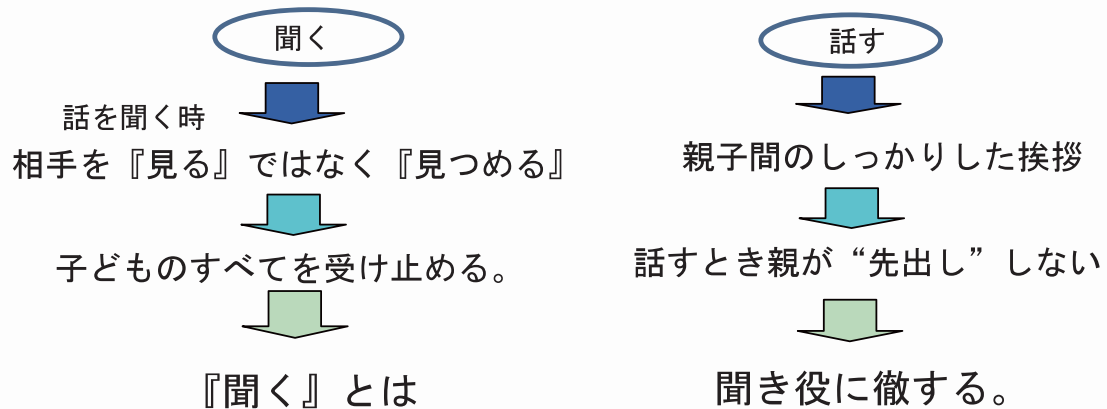
最初のうちは意識していたのに、いつのまにかいつもの様に「早くして」「いい加減にして」と言っていました。ふだん家で使っている日常会話のように普通に飛び交っていました。これもまた、「我が家の親子の言葉のコミュニケーション」なのだと思います。



<まとめ>

コミュニケーションとは？

お互いに相手を認識し、理解し、尊重して行われる交換過程。



- ① コミュニケーションをとる時、相手を『見つめて聞く』事で、子どもの全てを受け入れる。一に忍耐！二に忍耐！
- ② 親子間の密度の高いコミュニケーションを築く第一歩は、日常の挨拶から…
- ③ 親は時間・気持ちの余裕を持ち、子どもと向き合う。
- ④ コミュニケーションの中で、子どもに“やる気”をおこさせる声かけ。
- ⑤ 感謝の気持ちを常に持ち続ける様に教え、導く。
- ⑥ 一個人としての人格を認める。
- ⑦ 子どもは親に「頼りにされる事」に敏感である。
- ⑧ 子どもの反抗は 親に対する愛情欲求のサイン

子どもを変えていくのではなくまず私達親が変わる事から始まる。



やって見せ
言って聞かせて
させてみて
褒めてやらねば
子どもは動かじ